

# 戦争と同志社

## — 有賀鐵太郎の時代から現代まで —

ウクライナ危機によって世界の緊張が高まる中、私たちは何を考えるべきなのでしょう。同志社が戦争とどのように向き合ってきたのか、私たちの足元の歴史を見つめ直すことを手がかりとして、戦争や平和をめぐる現代の課題を共に考えていきたいと思えます。戦時下の同志社を知る、カナダ在住の有賀誠一氏を講師として迎え（オンライン）、同氏の父・有賀鐵太郎（戦時下、本学神学部教授）の生き様・思想にも触れていただきます。

入場無料・事前申込必要

● 日時：2022年 **5月6日**（金）10:30 — 12:00

● 場所：同志社大学 今出川キャンパス 神学館礼拝堂

& Zoom ウェビナー

● 申込先 <https://forms.office.com/r/TJAEwJacjj>  
（対面・オンライン併用、4月27日（水）12時締切）

● 講演：有賀誠一（カナダ合同教会 引退牧師）

1939年京都に生まれる。同志社大学工学部卒業。日本、ドイツ、カナダでプラズマ物理学・核融合研究者（理学博士）、心理カウンセラー（心理学博士）、カナダ合同教会の牧師またチャプレンとして働き、カナダで引退。地元のオーケストラの首席フルーティストとしての活動は続けている。



● 司会：小原克博（同志社大学 神学部 教授）

● コメンテーター：吉田 亮（同志社大学 社会学部 教授）

※ 本シンポジウムは、ALL DOSHISHA 教育推進プログラム「社会実践のためのブレンディッド・ラーニングの構築—「地の塩」プロジェクト」の一環として行われます。対面参加の神学館礼拝堂は100名までの先着です。感染状況によりZoomのみとする場合があります。

■ 共催：同志社大学 良心学研究センター <https://ryoshin.doshisha.ac.jp>

■ 問い合わせ 同志社大学 神学部・神学研究科 事務室

Tel: 075-251-3330 <https://theo.doshisha.ac.jp>